

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	English Interpersonal Communication		
英文授業科目名	English Interpersonal Communication		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1 - 712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
アカデミックな分野で使用する英語の技能（個人間のコミュニケーション能力）の向上を目指す。具体的には、（1）自分の情報をまとめ発表できること、（2）相手から情報を聴き出せること、（3）相手から聴き出した情報を適切に分析しまとめることができること。

【前もって履修しておくべき科目】
1年・2年の英語の必修科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
英語の演習

【教科書等】
教科書：Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

【授業内容とその進め方】

教科書のモデル学習（主としてspeakingとlisteningの基礎）を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は以下の要領で個別学習を行う。

（１） 自分の情報をまとめ発表できること：自己紹介、趣味、家族、大学、クラブ活動、アルバイト、興味ある

研究分野等自分に関する情報を写真等の資料を使いまとめ、英語で発表できること。

（２） 相手から情報を聴き出せること：必要な情報を聴き出せる英語表現をまとめ、音声的にも適切な英語で発表できること。

（３） 相手から聴き出した情報を適切に分析しまとめることができること：インタビュー、講演等で聴き出した

英語から必要な情報を取り出し、その内容をまとめて英語で発表できること。

インタビュー等の形で情報を収集する場合には、録音等の関係でグループ形式を取るが、基本的には各自が個人的情報を蓄え、同様の情報を相手から聴き出し、その結果を分析しまとめるという一連の学習を英語で行えるようになることが主たる目的である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業関連（予習・発表・まとめ等）[50%]および課題[50%]

履修条件：

正当な理由なく授業の1/3以上欠席した場合は、単位を認めない。

英語力の一部の客観的評価を得るためにTOEICテストを受験することが望ましい！

課題

自分の情報のまとめ、スピーキングの録音、インタビューのまとめ等

【オフィスアワー：授業相談】

予約のある相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

受講する時の英語の力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク等どんな学生でも歓迎する。本講義で準備したプログラムを学習して、本当の英語力の獲得を強く望む学生の参加を強く望む。講義・学生諸君の個人学習・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる英語の基礎を確実に身に着けるための講義を目指している。通年を通して学んだ結果がTOEICテストのスコアで100点UPするのが目標である。（ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため。）

【その他】

言語自習室のプログラムとも有機的に関連している講義である。英語の発音（リズム）の定期的測定（10月・1月）および発音（リズム）の練習（初級・中級・上級）を行う。また、TOEICテストを受験して各自の英語力の向上を客観的に把握する。TOEIC受験の準備（訓練）としては、ALCの自習教材を使用することもできる。